西東京市市民協働推進センター

令和３年度第３回運営委員会会議録（確定稿）

■開催日時：令和３年７月 20 日(火)午後７時 00 分～８時 00 分
■開催場所：オンライン開催（Zoom）
■出席委員：川村委員、佐藤委員、柴委員、永野委員、樋口委員、久松委員、平林委員、星委員、
馬渕委員、森谷委員、山本委員<以上 11 名、五十音順>
■事 務 局：小松センター長、鈴木副センター長、利光地域福祉推進係長、塚澤主任

1.報 告 事 項

1.事業報告について

事務局より、5-6 月期の主催事業、ホームページアクセス数、新規登録団体、市民活動相談に対する質疑応答とした。

委　員：近隣７市市民活動情報連絡会において、今後やりたいことを共有とあるが、具体的にどのようなことか知りたい。

事務局：次の監事は小平市なので、その時々の社会情勢に応じて中間支援センターとして何ができるのか意見を出し合って決めていくという事だ。

委　員：FM 西東京『こみゅラジ～今日どう？』は生放送でやっているのか。

事務局：生放送している。

委　員：西東京市から離れたところからでも聞けるのか。

事務局：聞くことができるので、サイトのリンクを送る。

委　員：6 月 29 日の研修の内容を知りたい。

事務局：一般社団法人 JIMI―LAB 代表の五井渕敏明氏が講師となりビジネスマナーや NPO に対する理解、多様なステークホルダーとしてのコミュニケーション、仕事の進め方などを押さえ、新任スタッフが継続して仕事をやりとげられる考え方の基礎等を学ぶ研修だった。

2. 7 月以降の事業について

事務局より、７月以降の実施事業について説明があった。

委　員：7 月 21 日の NPO 市民フェスティバル実行委員会へ運営委員から参加される方はいるのか。

事務局：運営委員から実行委員へ５名の方が参加している。

2. 審 議 事 項

1. 前回の会議録について

委員長：意見がなければ確定稿とする。

3. 協 議 事 項

1.センターの業務執行に関する事項について

事務局より、NPO パワーアップ講座（案）について説明があった。

委員長：申込はいつから開始するのか。

事務局：市報掲載が９月１日からなので、市報掲載されたら募集を開始する。

委　員：対象者だが、今現在活動をしている方が対象か。これから団体を作り活動したい方は対象にはならないのか。
事務局：基本的に市民活動団体向けの内容にはなるが、これから団体を作るなど活動を考えている方も参加をできるようにする予定である。
委　員：クラウドファンディングとは元々どういう意味なのか。
事務局：いろいろな意味合いはあるが、資金を集めるために寄付をしてもらう。ふるさと納税のイメージが近いと思う。
委　員：寄付に対する見返りとして、どのような成果を出すかということに関して、明確なアイデアが必要で、どのように発信するのかが重要なのかを講師が教えてくれるという事で良いか。
事務局：その通りだ。この金額にはこういう意味があり、見返りとしての成果はこうだという意味合いのストーリー性を作ることが大切で、寄付したら終わりではなく引き続き支援に結びつけていくことまで話してもらう予定だ。
委　員：パワーアップ講座のテーマの決め方を知りたい。市から方向性として西東京市の中にある事業体を狙ったテーマとしての要望があるのか。
事務局：事業の内容に関しては市からの意見はない。ゆめこらぼのスタッフが日頃の活動の中でアンテナを張り会議を重ね決定していく。
委　員：定員が 20 名とのことだが、オンラインであるならば定員を設けるのはもったいないと思う。定員を設ける意味合いは何か。講師から定員の指定があったのか。
事務局：講師から定員の指定はない。講師と打合せする中で、個別の相談にも時間を割きたいのではないかと感じた。質疑応答に対して一人一人に丁寧に回答していく時間を設けるためには、20 名位が丁寧にできるのかと定員を設けた。参加人数と満足度を考えると適正な人数ではないかと考えている。参加人数の幅は持たせる。
委　員：オンラインの講座は過去に経験があったのか。
事務局：昨年度からオンラインでの講座は何度か開催している。SDGs の講座では 25 名の参加があった。
委　員：参加者が 20 名という事なら、参加者同士が応援し合うなど横のつながりが生まれることも目的のひとつとした内容を期待しているのか。
事務局：どの事業に関しても協働の推進なので、いろいろなセクターの方たちが一緒に進んでいく場であったり、きっかけの場であることを意識している。単発の事業だが、横のつながりは大切にしている。
委　員：ブレイクアウトルームも利用して話し合うなどの内容か。
事務局：今回は人数的にオープンにして、質疑応答や感想を共有できる場を想定している。
委　員：とても良い企画だと思う。講師の意向や参加者の了承も必要だと思うが、参加費が無料なので後日ホームページ等で録画配信があれば多くの方がアクセスでき、今後の広がりがあるのではないかと思うので検討して欲しい。
事務局：講師と参加者の理解を得つつ進めていきたい。
委　員：クラウドファンディングは夢もあり新しい手法と捉えられ良い例も多いとは思うが、実際は支援をしてもらうためには工夫も必要となる。クラウドファンディングをやるとお金が集まるのではないかと思ってしまう団体もあるが、実際はそうでもない。支援してもらう為の工夫が必要である。是非講師に触れてもらいたいのが、設定によってはノルマを達成するため

に、自分たちで寄付しなくてはならないなど追い込まれる場合もある。やり方のパターン別、タイプ別の注意点など基礎的な事を押さえたうえで、やりようによっては負担をしたり、持ち出しが出てしまう、思ったようにならない等のリスクも抑えたクリエイティブな話をしてもらいたい。

事務局：講師と打合せして伝えていく。

委員長：領収書や税金をどうしたら良いのか、信頼できるサイトの見分け方なども教えてもらえるとよい。

事務局より、第三者評価について説明があった。

委員長：８月中に内部評価を確定する上で、運営委員が質問などすることで良いか。スケジュールなども知りたい。

事務局：メールで送る。

委　員：Ｂ評価のついている部分の説明が聞きたい。

事務局：仕様書に基づいて人員の配置が決まっているが、予算の関係で人を配置できない場合が出てくる。人件費の予算が足りないため、本来２名の人員を置かなくてはならないが、一人勤務が出てしまうなどの状況が出てしまうため、適切な職員配置、業務水準の防犯においても人員の配置が出来ないことがあるためＢとしている。また、場所・機材の提供についてはコロナの影響により施設の閉鎖などが影響した部分もあるが利用者か減少したためＢとした。

委　員：やむを得ない部分があると思うが、完璧な配置が出来ない中でどう補うかは課題となる。

委　員：場所・機材の提供に関しては計画を柔軟に変更することが出来たなら、新しい技術を持って支援できた部分もあったのではないかという事もあるのではないか。

事務局：場所と機材という事ではどうしても一昨年度と比較すると貸出しの数や来訪者数は減少している。他の部分での事業に関しては、計画にはないオンライン講座も開催したことでＡにしている項目はある。評価に対するヒントを頂ければありがたい。

4．そ　の　他

1．次回運営委員会日程について

日時：10 月 19 日（火）19 時～21 時

会場：オンライン開催（Zoom）